

部分床義歯補綴学実習Ⅱ

責任者名：安田 裕康

学期：後期

対象学年：4年

授業形式等：実習

◆担当教員

安田 裕康(歯科補綴学Ⅱ 助教)
月村 直樹(歯科補綴学Ⅱ 准教授)
大谷 賢二(歯科補綴学Ⅱ 専任講師)
大山 哲生(歯科補綴学Ⅱ 専任講師)
秋田 大輔(歯科補綴学Ⅱ 助教)
石上 友彦(特任教授)
青山 芳博(歯科補綴学Ⅱ 兼任講師)
小豆畑 拓夫(歯科補綴学Ⅱ 兼任講師)
宇美 隆生(歯科補綴学Ⅱ 兼任講師)
内田 耕司(歯科補綴学Ⅱ 兼任講師)
大野 繁(歯科補綴学Ⅱ 兼任講師)
岡田 信夫(歯科補綴学Ⅱ 兼任講師)
北村 晃一(歯科補綴学Ⅱ 兼任講師)
小林 公(歯科補綴学Ⅱ 兼任講師)
澤野 宗如(歯科補綴学Ⅱ 兼任講師)
高村 昌明(歯科補綴学Ⅱ 兼任講師)
豊田 潤(歯科補綴学Ⅱ 兼任講師)
中臺 一介(歯科補綴学Ⅱ 兼任講師)
藤本 俊輝(歯科補綴学Ⅱ 兼任講師)
三井 安治(歯科補綴学Ⅱ 兼任講師)
永井 栄一(歯科補綴学Ⅱ 兼任講師)
三橋 裕(歯科補綴学Ⅱ 兼任講師)
森川 正朗(歯科補綴学Ⅱ 兼任講師)
伊藤 顕治(歯科補綴学Ⅱ 兼任講師)
中林 晋也(歯科補綴学Ⅱ 兼任講師)
眞田 淳太郎(歯科補綴学Ⅱ 兼任講師)
高橋 侑子(歯科補綴学Ⅱ 兼任講師)

◆一般目標 (GIO)

歯列欠損患者の治療方法の1つとしての部分床義歯製作法を修得する。部分床義歯を製作するために、その製作過程の中でのスタディモデルの製作、仮設計、個人トレーの製作、精密印象採得などの臨床術式、本設計、咬合床の製作、咬合採得などの臨床術式、および人工歯排列の技工操作を理解する。また、それらに関連する知識を理解する。

◆到達目標 (SBOs)

- 1) 部分床義歯製作における、器材および材料の使用方法を説明できる。
- 2) 欠損形態の分類とその特徴について述べるができる。
- 3) 研究用模型を用いた部分床義歯の設計手順を述べるができる。
- 4) サベイングの目的とサベイヤーの使用法について述べるができる。
- 5) 部分床義歯特有の個人トレーおよび咬合床の製作法を説明し、行うことができる。
- 6) 半調整性咬合器の原理を説明し、使用できる。
- 7) 支台装置の種類、製作方法、機能および適応について述べるができる。
- 8) 連結装置の種類、製作方法、機能および適応について述べるができる。
- 9) 人工歯の種類、機能および適応について述べるができる。
- 10) 義歯床用レジンの種類、重合方法、適応について述べるができる。

◆評価方法

本教科の成績評価点は、平常時に行っている実習の製作物の完成度（80%）および前期実習の最終日に行う平常試験（20%）を加えて評価する。なお、平常時に行う採点用製作物のフィードバックは、採点時あるいは採点後に行い、製作物のどこを修正すれば、より良い製作物になるか指導する。また、実習状況の観察による評価により、実習内容に理解が足りない学生に対してレポートの提出を求める。その場合はレポート提出時に、レポートに対してのフィードバックを行う。

◆オフィス・アワー

担当教員	対応時間・場所など	メールアドレス・連絡先	備考
安田 裕康	17:00～18:00（火曜日） 歯科補綴学第Ⅱ講座（本館5階）	03-3219-8144	

◆授業の方法

実習は9月9日（全15回）から行われ、基本的に水曜日5時限に実習説明のための遠隔講義を行い、木曜日5～8時限に第5実習室で2グループに分かれて進行する。実習書の課題に対して積極的に実習を行い、評価を受けてもらう。レポートに関しては、実習の進行状況を見ながら、随時、課題を挙げて提出をしてもらう。

【実務経験】

安田裕康：現在、在職している日本大学歯学部附属歯科病院局部床義歯科での臨床経験等の話しも交えながら、歯科臨床現場において本教科で学ぶ内容の理論や主に実技がどのように実際に活用されるかについて、わかりやすく解説し、適切な実技を学ぶ場を提供したいと考えています。

◆教材（教科書、参考図書、プリント等）

種別	図書名	著者名	出版社名	発行年
実習書	部分床義歯補綴学実習書	日本大学歯学部歯科補綴学 第Ⅱ講座編		2020

◆DP・CP

[DP-1]コンピテンス：豊かな知識・教養に基づく高い倫理観

コンピテンス：医の尊厳を理解し，法と論理に基づいた医療を実践するために必要な豊かな教養と歯科医学の知識を修得できる。

[DP-4]コンピテンス：問題発見・解決力

コンピテンス：自ら問題を発見し，その解決に必要な基本的歯科医学・医療の知識とスキルを修得できる。

[DP-5]コンピテンス：挑戦力

コンピテンス：新たな課題の解決策を見出すために，基礎・臨床・社会医学等の知識を基に積極的に挑戦し続けることができる。

[DP-8]コンピテンス：省察力

コンピテンス：プロフェッショナルとして生涯にわたり，振り返りを通じて基礎・臨床・社会歯科領域において自らを高める能力を身につけている。

[CP - 1]歯科医学と医療倫理の基礎的知識を修得し，社会人としての品格と医療人になるための自覚を養成する。

[CP - 3]幅広い教養と歯科医療に必要な体系的な知識を基に，論理的・批判的思考力と総合的な判断力を育成する。

[CP - 4]歯科医学の基礎知識を体系的に修得し，臨床的な観点で問題を解決する力を養成する。

[CP - 5]研究で明らかとなる新たな知見と研究マインドをもとに，歯科医学の課題に挑戦する学生を育成する。

[CP - 8]各学年における学修で得た歯科医学の知識，技術および省察力をもとに，歯科医師として生涯にわたる学習する姿勢を育成する。

◆準備学習(予習・復習)

必ず事前に実習書を読み，実習前講義の説明内容を理解しておくこと。

本実習の最終日に試験を行う為，それまでに十分に学習すること。

◆準備学習時間

毎回の実習前に実習書に記載された事項に対して，予習として実習書を読んでから実習に臨むこと。

◆全学年を通しての関連教科

歯科理工学Ⅰ（2年後期）

歯科理工学実習Ⅰ（2年後期）

歯科理工学Ⅱ（3年前期）

歯科理工学実習Ⅱ（3年前期）

歯冠補綴学（3年後期）

歯冠補綴学実習（3年後期）

咬合学概論（3年後期）

架橋義歯補綴学（4年前期）

部分床義歯補綴学Ⅰ（４年前期）
 架橋義歯補綴学実習（４年前期）
 総義歯補綴学Ⅰ（４年前期）
 顎機能治療学（４年前期）
 顎機能分析学（４年後期）
 顎機能分析学演習（４年後期）
 総義歯補綴学実習（４年後期）
 部分床義歯補綴学Ⅱ（４年後期）
 総義歯補綴学Ⅱ（４年後期）

◆予定表

回	クラス	月日	時間	学習項目	学修到達目標	担当	コアカリキュラム
1		9.9	5	遠隔講義 1. 顎歯型の点検 2-1. 上顎研究用模型の製作 1)顎歯型の印象採得 2)石膏注入 (教)pp.1-5 2-2. 下顎研究用模型の製作 1)顎歯型の印象採得 2)石膏注入 (教)pp.6-9	・義歯製作にあたって、当該症例（顎歯型）の咬合状態を調整する必要性と方法を学ぶことができる。 ・義歯製作にあたり、診査・診断および治療計画や義歯の設計を行うために、研究用模型を製作することを理解することができる。 ・既製トレーを用いて、概形印象採得法を学ぶことができる。	部分床義歯補綴学実習	E-3-4)-(2) 可撤性義歯（部分床義歯、全部床義歯） ④可撤性義歯の要素構成と支持、把持、維持の機構を説明できる。 ⑤可撤性義歯の設計原則を説明できる。 ⑪可撤性義歯の製作に必要な材料の特性と基本的操作方法を説明できる。
2 ～ 3	A:5,6 B:7,8 時限	9.10	5 ～ 8	1. 顎歯型の点検 (教)pp.1-5 2-1. 下顎研究用模型の製作 1)顎歯型の印象採得 2)石膏注入 (教)pp.6-9	・義歯製作にあたって、当該症例（顎歯型）の咬合状態を調整する必要性と方法を学ぶことができる。 ・義歯製作にあたり、診査・診断および治療計画や義歯の設計を行うために、研究用模型を製作することを理解することができる。 ・既製トレーを用いて、概形印象採得法を学ぶことができる。	部分床義歯補綴学実習	E-3-4)-(2) 可撤性義歯（部分床義歯、全部床義歯） ④可撤性義歯の要素構成と支持、把持、維持の機構を説明できる。 ⑤可撤性義歯の設計原則を説明できる。

							①可撤性義歯の製作に必要な材料の特性と基本的操作方法を説明できる。
4		9.16	5	遠隔講義 3. サベイヤーの使用法 (教)pp.11-16 4. 義歯の設計 (教)pp.17-24	<ul style="list-style-type: none"> ・サベイヤーの目的およびサベイヤーの使用法, 付属品の名称を理解することができる。 ・支台装置の機能について学ぶことができる。 ・レスト座の設置位置, ガイドプレーンの目的とその働きを理解することができる。 ・金属床義歯とレジン床の違いを理解することができる。 	部分床義歯 補綴学実習	E-3-4)-(2) 可撤性義歯 (部分床義歯、全部床義歯) ④可撤性義歯の要素構成と支持、把持、維持の機構を説明できる。 ⑤可撤性義歯の設計原則を説明できる。 ①可撤性義歯の製作に必要な材料の特性と基本的操作方法を説明できる。
5 ～ 6	A:5,6 B:7,8 時限	9.17	5 ～ 8	2-2. 上顎研究用 模型の製作 1)顎歯型の印象採得 2)石膏注入 (教)pp.1-5	<ul style="list-style-type: none"> ・上下顎模型のトリミングを行い, 平行模型の必要性と製作法を学ぶことができる。 	部分床義歯 補綴学実習	E-3-4)-(2) 可撤性義歯 (部分床義歯、全部床義歯) ④可撤性義歯の要素構成と支持、把持、維持の機構を説明できる。 ⑤可撤性義歯の設計原則を説明できる。 ①可撤性義歯の製作に必要な材料の特性と基本的操作方法を説明で

							きる。
7 ～ 8	A:5,6 B:7,8 時限	9.24	5 ～ 8	3. サベイヤーの 使用法 (教)pp.11-16 4. 義歯の設計 (教)pp.17-24	<ul style="list-style-type: none"> ・サベイヤーの目的およびサベイヤーの使用法, 付属品の名称を理解することができる。 ・支台装置の機能について学ぶことができる。 ・レスト座の設置位置, ガイドプレーンの目的とその働きを理解することができる。 ・金属床義歯とレジン床の違いを理解することができる。 	部分床義歯 補綴学実習	E-3-4)-(2) 可 撤性義歯 (部 分床義歯、全 部床義歯) ④可撤性義歯 の要素構成と 支持、把持、 維持の機構を 説明できる。 ⑤可撤性義歯 の設計原則を 説明できる。 ⑩可撤性義歯 の製作に必要 な材料の特性 と基本的操作 方法を説明で きる。
9		9.30	5	遠隔講義 5. 個人トレーの 製作 (下顎のみ) (教)pp.25-27	<ul style="list-style-type: none"> ・トレーレジンの操作性について学ぶことができる。 ・個人トレーの利点および製作法について学ぶことができる。 	部分床義歯 補綴学実習	E-3-4)-(2) 可 撤性義歯 (部 分床義歯、全 部床義歯) ④可撤性義歯 の要素構成と 支持、把持、 維持の機構を 説明できる。 ⑤可撤性義歯 の設計原則を 説明できる。 ⑩可撤性義歯 の製作に必要 な材料の特性 と基本的操作 方法を説明で きる。
10 ～ 11	A:5,6 B:7,8 時限	10.1	5 ～ 8	5. 個人トレーの 製作 (下顎のみ)	<ul style="list-style-type: none"> ・トレーレジンの操作性について学ぶことができる。 ・個人トレーの利点および製作法に 	部分床義歯 補綴学実習	E-3-4)-(2) 可 撤性義歯 (部 分床義歯、全

				(教)pp.25-27	ついて学ぶことができる。		部床義歯) ④可撤性義歯の要素構成と支持、把持、維持の機構を説明できる。 ⑤可撤性義歯の設計原則を説明できる。 ⑪可撤性義歯の製作に必要な材料の特性と基本的操作方法を説明できる。
12		10.7	5	遠隔講義 5. 有床義歯の印象方法について	・有床義歯の印象方法について学ぶことができる。	部分床義歯 補綴学実習	E-3-4)-(2) 可撤性義歯（部分床義歯、全部床義歯） ④可撤性義歯の要素構成と支持、把持、維持の機構を説明できる。 ⑤可撤性義歯の設計原則を説明できる。 ⑪可撤性義歯の製作に必要な材料の特性と基本的操作方法を説明できる。
13 ～ 14	A:5,6 B:7,8 時限	10.8	5 ～ 8	5. 個人トレーの製作 (下顎のみ) (教)pp.25-27	・トレーの外形線、ストッパーの位置、トレーの柄の形態などについて学ぶことができる。	部分床義歯 補綴学実習	E-3-4)-(2) 可撤性義歯（部分床義歯、全部床義歯） ④可撤性義歯の要素構成と支持、把持、維持の機構を

							説明できる。 ⑤可撤性義歯の設計原則を説明できる。 ⑪可撤性義歯の製作に必要な材料の特性と基本的操作方法を説明できる。
15		10.14	5	遠隔講義 6. 作業模型の製作 1)顎模型の精密印象採得 (教)pp.47-50	・個人トレーを用いた精密印象採得法を学ぶことができる。 ・部分床義歯製作のための作業用模型の製作法を学ぶことができる。	安田 裕康 月村 直樹 大谷 賢二 秋田 大輔	E-3-4)-(2) 可撤性義歯（部分床義歯、全部床義歯） ④可撤性義歯の要素構成と支持、把持、維持の機構を説明できる。 ⑤可撤性義歯の設計原則を説明できる。 ⑪可撤性義歯の製作に必要な材料の特性と基本的操作方法を説明できる。
16 ～ 17	A:5,6 B:7,8 時限	10.15	5 ～ 8	6. 作業模型の製作 1)顎模型の精密印象採得 (教)pp.47-50	・個人トレーを用いた精密印象採得法を学ぶことができる。 ・部分床義歯製作のための作業用模型の製作法を学ぶことができる。	部分床義歯 補綴学実習	E-3-4)-(2) 可撤性義歯（部分床義歯、全部床義歯） ④可撤性義歯の要素構成と支持、把持、維持の機構を説明できる。 ⑤可撤性義歯の設計原則を説明できる。 ⑪可撤性義歯

							の製作に必要な材料の特性と基本的操作方法を説明できる。
18		10.21	5	遠隔講義 6. 作業模型の製作 2)石膏注入 (教)pp.47-50	・作業用模型のトリミングの必要性と方法を学ぶことができる。	安田 裕康 月村 直樹 大谷 賢二 秋田 大輔	E-3-4)-(2) 可撤性義歯（部分床義歯、全部床義歯） ④可撤性義歯の要素構成と支持、把持、維持の機構を説明できる。 ⑤可撤性義歯の設計原則を説明できる。 ⑪可撤性義歯の製作に必要な材料の特性と基本的操作方法を説明できる。
19 ～ 20	A:5,6 B:7,8 時限	10.22	5 ～ 8	6. 作業模型の製作 2)石膏注入 (教)pp.47-50	・作業用模型のトリミングの必要性と方法を学ぶことができる。	部分床義歯 補綴学実習	E-3-4)-(2) 可撤性義歯（部分床義歯、全部床義歯） ④可撤性義歯の要素構成と支持、把持、維持の機構を説明できる。 ⑤可撤性義歯の設計原則を説明できる。 ⑪可撤性義歯の製作に必要な材料の特性と基本的操作方法を説明できる。

21		10.28	5	遠隔講義 7. 設計線の描記 (教)pp.51-52	<ul style="list-style-type: none"> ・作業用模型上にサベイングし、設計を描記する方法と目的を学ぶことができる。 ・金属床義歯のフィニッシュラインを理解することができる。 	部分床義歯 補綴学実習	E-3-4)-(2) 可 撤性義歯（部 分床義歯、全 部床義歯） ④可撤性義歯 の要素構成と 支持、把持、 維持の機構を 説明できる。 ⑤可撤性義歯 の設計原則を 説明できる。 ⑩可撤性義歯 の製作に必要 な材料の特性 と基本的操作 方法を説明で きる。
22 ～ 23	A:5,6 B:7,8 時限	10.29	5 ～ 8	7. 設計線の描記 (教)pp.51-52	<ul style="list-style-type: none"> ・作業用模型上にサベイングし、設計を描記する方法と目的を学ぶことができる。 ・金属床義歯のフィニッシュラインを理解することができる。 	部分床義歯 補綴学実習	E-3-4)-(2) 可 撤性義歯（部 分床義歯、全 部床義歯） ④可撤性義歯 の要素構成と 支持、把持、 維持の機構を 説明できる。 ⑤可撤性義歯 の設計原則を 説明できる。 ⑩可撤性義歯 の製作に必要 な材料の特性 と基本的操作 方法を説明で きる。
24		11.4	5	遠隔講義 8. 咬合床の製作 (教)pp.53-56	<ul style="list-style-type: none"> ・基礎床と咬合堤を製作する目的およびその方法を学ぶことができる。 	部分床義歯 補綴学実習	E-3-4)-(2) 可 撤性義歯（部 分床義歯、全 部床義歯）

							<p>④可撤性義歯の要素構成と支持、把持、維持の機構を説明できる。</p> <p>⑤可撤性義歯の設計原則を説明できる。</p> <p>⑪可撤性義歯の製作に必要な材料の特性と基本的操作方法を説明できる。</p>
25 ～ 26	A:5,6 B:7,8 時限	11.5	5 ～ 8	8. 咬合床の製作 (教)pp.53-56	・基礎床と咬合堤を製作する目的およびその方法を学ぶことができる。	部分床義歯 補綴学実習	<p>E-3-4)-(2) 可撤性義歯（部分床義歯、全部床義歯）</p> <p>④可撤性義歯の要素構成と支持、把持、維持の機構を説明できる。</p> <p>⑤可撤性義歯の設計原則を説明できる。</p> <p>⑪可撤性義歯の製作に必要な材料の特性と基本的操作方法を説明できる。</p>
27		11.11	5	遠隔講義 8. 咬合採得の目的 (教)pp.53-56	・咬合採得を行う目的およびその方法を学ぶことができる。	部分床義歯 補綴学実習	<p>E-3-4)-(2) 可撤性義歯（部分床義歯、全部床義歯）</p> <p>④可撤性義歯の要素構成と支持、把持、維持の機構を説明できる。</p>

							⑤可撤性義歯の設計原則を説明できる。 ⑩可撤性義歯の製作に必要な材料の特性と基本的操作方法を説明できる。
28 ～ 29	A:5,6 B:7,8 時限	11.12	5 ～ 8	8. 咬合床の製作 (教)pp.53-56	・ジグを使用し、上顎模型の装着を学ぶことができる。	部分床義歯 補綴学実習	E-3-4)-(2) 可撤性義歯（部分床義歯、全部床義歯） ⑩可撤性義歯の製作に必要な材料の特性と基本的操作方法を説明できる。⑬可撤性義歯の装着、調整を説明できる。
30		11.18	5	遠隔講義 9. 咬合採得と咬合器装着 (教)pp.57-70	咬合採得の目的と方法を学ぶことができる。	部分床義歯 補綴学実習	E-3-4)-(2) 可撤性義歯（部分床義歯、全部床義歯） ⑩可撤性義歯の製作に必要な材料の特性と基本的操作方法を説明できる。⑬可撤性義歯の装着、調整を説明できる。
31 ～ 32	A:5,6 B:7,8 時限	11.19	5 ～ 8	9. 咬合採得と咬合器装着 (教)pp.57-70	・咬合採得の目的と方法を学ぶことができる。	部分床義歯 補綴学実習	E-3-4)-(2) 可撤性義歯（部分床義歯、全部床義歯） ⑩可撤性義歯

							の製作に必要な材料の特性と基本的操作方法を説明できる。⑬可撤性義歯の装着、調整を説明できる。⑪可撤性義歯の製作に必要な材料の特性と基本的操作方法を説明できる。⑬可撤性義歯の装着、調整を説明できる。
33		11.25	5	遠隔講義 9. 部分床義歯の特殊な製作方法	・部分床義歯の特殊な方法を用いての製作方法について理解することができる。	部分床義歯 補綴学実習	E-3-4)-(2) 可撤性義歯（部分床義歯、全部床義歯） ⑪可撤性義歯の製作に必要な材料の特性と基本的操作方法を説明できる。⑬可撤性義歯の装着、調整を説明できる。
34 ～ 35	A:5,6 B:7,8 時限	11.26	5 ～ 8	9. 咬合採得と咬合器装着 (教)pp.57-70	・咬合床を用いて下顎模型の装着を学ぶことができる。	部分床義歯 補綴学実習	E-3-4)-(2) 可撤性義歯（部分床義歯、全部床義歯） ⑪可撤性義⑪可撤性義歯の製作に必要な材料の特性と基本的操作方法を説明できる。⑬可撤性

							義歯の装着、調整を説明できる。歯の製作に必要な材料の特性と基本的操作方を説明できる。⑬可撤性義歯の装着、調整を説明できる。
36		11.28	5	遠隔講義 10. 埋没・填入	・有床義歯の埋没・填入について学ぶことができる。	部分床義歯 補綴学実習	E-3-4)-(2) 可撤性義歯（部分床義歯、全部床義歯） ⑪可撤性義歯の製作に必要な材料の特性と基本的操作方を説明できる。⑬可撤性義歯の装着、調整を説明できる。
37		12.2	5	遠隔講義 10. 連結装置の作業用模型への固定(教)pp.105 11. 人工歯排列 1) 46 および 47 の人工歯排列(教)pp.107-110 2) 35 および 36 の人工歯排列(教)pp.111-113	・人工歯の選択基準および排列基準を理解することができる。 ・歯肉形成の審美性、機能的形態の目的および方法を理解することができる。 ・製作した支台装置を作業模型上に試適し、鉤腕の形態修正および適合性について理解することができる。	部分床義歯 補綴学実習	E-3-4)-(2) 可撤性義歯（部分床義歯、全部床義歯） ⑪可撤性義歯の製作に必要な材料の特性と基本的操作方を説明できる。⑬可撤性義歯の装着、調整を説明できる。
38 ～ 39	A:5,6 B:7,8 時限	12.3	5 ～ 8	10. 連結装置の作業用模型への固定(教)pp.105	・人工歯の選択基準および排列基準を理解することができる。 ・歯肉形成の審美性、機能的形態の	部分床義歯 補綴学実習	E-3-4)-(2) 可撤性義歯（部分床義歯、全

				<p>11. 人工歯排列</p> <p>1) 46 および 47 の人工歯排列 (教)pp.107-110</p> <p>2) 35 および 36 の人工歯排列 (教)pp.111-113</p>	<p>目的および方法を理解することができる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 製作した支台装置を作業模型上に試適し、鉤腕の形態修正および適合性について理解することができる。 		<p>部床義歯)</p> <p>⑪可撤性義歯の製作に必要な材料の特性と基本的操作方法を説明できる。⑬可撤性義歯の装着、調整を説明できる。⑭可撤性義歯のメンテナンス、リライン及び修理を説明できる。</p>
40		12.16	5	<p>遠隔講義</p> <p>12. 歯肉形成 (教)pp.115-118</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 金属床義歯の適合調整を修得することができる。 ・ 支台装置の咬合調整の目的を理解し、その技術を修得することができる ・ インサイザルガイドピンを調節することができる。 ・ 部分床義歯における人工歯排列の基礎的事項を学ぶことができる。・ 床縁および義歯研磨面の形態について学び、その技術を修得することができる。 	部分床義歯 補綴学実習	E-3-4)-(2) 可撤性義歯 (部分床義歯、全部床義歯) ⑪可撤性義歯の製作に必要な材料の特性と基本的操作方法を説明できる。⑬可撤性義歯の装着、調整を説明できる。
41 ～ 42	A:5,6 B:7,8 時限	12.17	5 ～ 8	<p>12. 歯肉形成 (教)pp.115-118</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 金属床義歯の適合調整を修得することができる。 ・ 支台装置の咬合調整の目的を理解し、その技術を修得することができる ・ インサイザルガイドピンを調節することができる。 ・ 部分床義歯における人工歯排列の基礎的事項を学ぶことができる。・ 床縁および義歯研磨面の形態について学び、その技術を修得することができる。 	部分床義歯 補綴学実習	E-3-4)-(2) 可撤性義歯 (部分床義歯、全部床義歯) ⑪可撤性義歯の製作に必要な材料の特性と基本的操作方法を説明できる。⑬可撤性義歯の装着、調整を説明できる。⑭

							可撤性義歯のメンテナンス、リライン及び修理を説明できる。
43		12.23	5	遠隔講義 13. 実習統括	・部分床義歯の製作までの一連の流れについて学ぶことができる。	部分床義歯 補綴学実習	E-3-4)-(2) 可撤性義歯（部分床義歯、全部床義歯） ⑪可撤性義歯の製作に必要な材料の特性と基本的操作方法を説明できる。⑬可撤性義歯の装着、調整を説明できる。
44 ～ 45	A:5,6 B:7,8 時限	12.24	5 ～ 8	13. 平常試験	・後期実習の履修項目に関する平常試験を行い、理解度をチェックする。	部分床義歯 補綴学実習	E-3-4)-(2) 可撤性義歯（部分床義歯、全部床義歯） ⑪可撤性義歯の製作に必要な材料の特性と基本的操作方法を説明できる。⑬可撤性義歯の装着、調整を説明できる。

担当グループ一覧表

グループ名	教員コード	教員名
部分床義歯補綴学実習	804	永井 栄一
	1239	大山 哲生
	1373	中林 晋也
	3082	眞田 淳太郎
	3000272	青山 芳博
	3000273	宇美 隆生
	3000274	岡田 信夫
	3000275	北村 晃一
	3000276	小林 公
	3000277	中臺 一介
	3000280	藤本 俊輝
	3000281	三井 安治
	3000282	三橋 裕
	3000284	森川 正朗
	3000285	澤野 宗如
	3000287	高村 昌明
	3000288	大野 繁
	3000289	小豆畑 拓夫
	3000290	内田 耕司
	3000292	豊田 潤
	3000603	高橋 侑子
	5000005	石上 友彦
	1195	大谷 賢二
	1206	月村 直樹
	2696	秋田 大輔
	2969	安田 裕康

